

## ローバルと溶融亜鉛めっきの 屋外暴露21ヶ年 経過報告

### 《試験目的》

屋外暴露によるローバル、溶融亜鉛めっきHDZ55(現規格:HDZT77)のさび止め能力を検証する。

### 《試験期間》

2002年7月15日～2023年7月15日(現在も試験継続中)

(参照)暴露場写真



### 《試験方法》

JIS Z 2381(2001)大気暴露試験方法通則に準ずる。

試験条件: 直接暴露及び南面30度

### 《試験片》

名称	寸法(縦×横×高さmm)	使用鋼板
ローバル (膜厚 80 $\mu$ m)	300*150*1.6	JIS G 3101 (SS-400)
溶融亜鉛めっき (HDZ 55)	300*150*3.2	JIS G 3101 (SS-400)

### 《試験場所》

(一財)日本塗料検査協会 西支部

### 《評価方法》

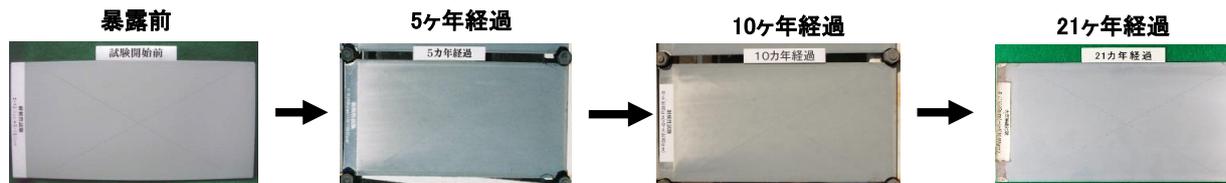
目視による外観の評価

### 《総合評価》

日本塗料検査協会西支部において21ヶ年継続的に試験実施しているが、ローバルにはさび、ふくれ、ワレなどの塗膜異状は見られない。

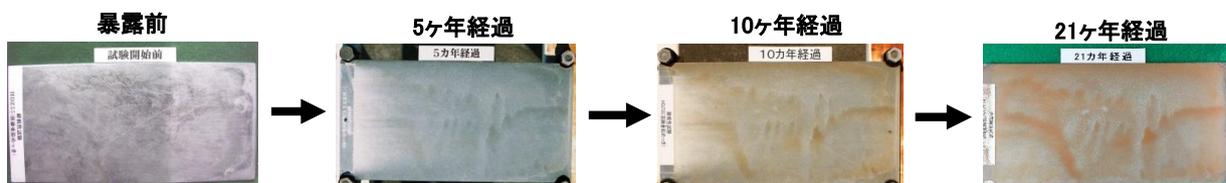
### ◇ローバルについて(膜厚80 $\mu$ m)

塗膜色の変化は見られるが、クロスカット部、平面部共にさびの発生は皆無であった。

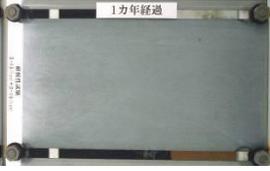
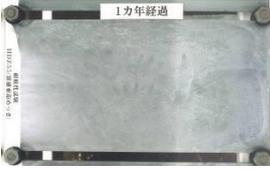
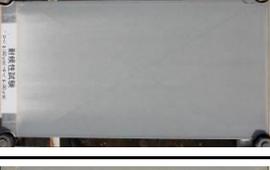
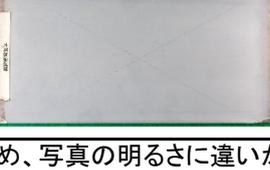


### ◇亜鉛めっき(HDZ55)

やけ部にさびが発生した。亜鉛鉄合金層の鉄成分が酸化しさびとなっていると思われる。ただし、さび発生はやけ部表層部のみであり、手工具程度で除去できる(中度)と推測する。



※詳細は別紙 写真資料参照

	ローバル	亜鉛めっき(HDZ55)
暴露前		
1ヶ年経過		
3ヶ年経過		
5ヶ年経過		
7ヶ年経過		
9ヶ年経過		
10ヶ年経過		
13ヶ年経過		
15ヶ年経過		
21ヶ年経過		

※撮影日、撮影場所が異なるため、写真の明るさに違いが出ております。